

Veryl で作る RISC-V CPU

— 基本編 —

[著] kanataso

技術書典 11（2024 年秋）新刊

2024 年 11 月 2 日 ver 1.0

■免責

本書は情報の提供のみを目的としています。

本書の内容を実行・適用・運用したことで何が起きようとも、それは実行・適用・運用した人自身の責任であり、著者や関係者はいかなる責任も負いません。

■商標

本書に登場するシステム名や製品名は、関係各社の商標または登録商標です。

また本書では、™、®、©などのマークは省略しています。

まえがき / はじめに

本書を手にとっていただき、ありがとうございます。

本書は、ハードウェア記述言語 Veryl で RISC-V の CPU を書く方法について解説した本です。
この本を読めば、CPU を作れます。

本書の目的

本書の目的は、XXX の基礎的な使い方を身につけることです。具体的には、XXX を使って XXX や XXX や XXX ができるようになることです。

ただし、XXX や XXX といった内容は、本書では扱いません。

本書の対象読者

本書では次のような人を対象としています。

- CPU を書いてみたい人
- Veryl を聞いたことはあるが触っていなかった人

前提とする知識

本書を読むにあたり、次のような知識が必要となります。

- 何らかのプログラミング言語の基礎知識
- いろいろ

問い合わせ先

本書に関する質問やお問い合わせは、次のページまでお願いします。正誤表とサンプルコードもここにあります。

- URL: <https://www.example.com/mybook/>

謝辞

本書は XXXX 氏と XXXX 氏にレビューしていただきました。この場を借りて感謝します。ありがとうございました。

凡例

本書では、プログラムコードを次のように表示します。太字は強調を表します。

```
print("Hello, world!");
```

←太字は強調

プログラムコードの差分を表示する場合は、追加されたコードを太字で、削除されたコードを取り消し線で表します。

```
print("Hello, world!");
```

←取り消し線は削除したコード

```
print("Hello, +name+!");
```

←太字は追加したコード

長い行が右端で折り返されると、折り返されたことを表す小さな記号がつきます。

```
123456789_123456789_123456789_123456789_123456789_123456789_123456789_123456789_
```

ターミナル画面は、次のように表示します。行頭の「\$」はプロンプトを表し、ユーザが入力するコマンドには薄い下線を引いています。

```
$ echo Hello
```

←行頭の「\$」はプロンプト、それ以降がユーザ入力

本文に対する補足情報や注意・警告は、次のようなノートや囲み枠で表示します。

.....

ノートタイトル

ノートは本文に対する補足情報です。

.....

**タイトル**
本文に対する補足情報です。

**タイトル**
本文に対する注意・警告です。

目次

まえがき / はじめに	i
第 1 章 ああ	1
1.1 あああ	1
あとがき / おわりに	2

第 1 章

ああ

あああ

1.1 あああ

あとがき / おわりに

いかがだったでしょうか。感想や質問は随時受け付けています。

著者紹介

ここに自己紹介を書きます

Veryl で作る RISC-V CPU

基本編

2024 年 11 月 2 日 ver 1.0 (技術書典 11)

著 者 kanataso

印刷所 日光企画

© 2024 カウプラン機関極東支部